

## 〈越前町長選・町議選〉

### 越前町長に高田氏初当選

# 町の政治を町民目線に変える！

越前町長選は3月2日、投開票され、無所属新人で前町議の高田浩樹氏48歳が、現職の青柳良彦氏に708票差をつけ、初当選を果たした。



初当選を果たした高田浩樹氏

4年前と同様、現職と前町議の一騎打ちが展開された。「町民に開かれた町政」を前面に打ち出した新人と「現路線の継続」を掲げた現職の舌戦が展開され、新人の高田浩樹氏が6214票を獲得し、青柳氏に708票差をつけた。当日有権者数は1万6708人。投票率は71.01%で、前回は3.36%下回り、4町村合併後で過去最低となる。再選を目指した現職は自民党県連、立憲民主党県連から推薦を受け、80の企業、団体から支援受けるなど盤石な組織戦を展開。1期4年間、人口流出の抑止に重点を置いた実績と経験を強調。空き家解

体の補助拡充や防犯力の強化などを公約に掲げ現町政の継続を訴え、票固めを図ったが、前回より1600票減らし、あと一歩及ばなかった。

一方、初挑戦の高田氏は選挙期間中「開かれたまち」「町民目線」を繰り返して、町政に町民の声を反映させると訴えた。多くの企業団体から支援を受ける現職に対し、組織を一切持たない高田氏は、草の根での厳しい選挙戦となったが、街頭や集会で支持者との対話を重視する姿勢をアピール。地域政党「ふくいのかい」の支援やSNSを活用し支援の輪を広げていった。初当選が決まった高田氏は